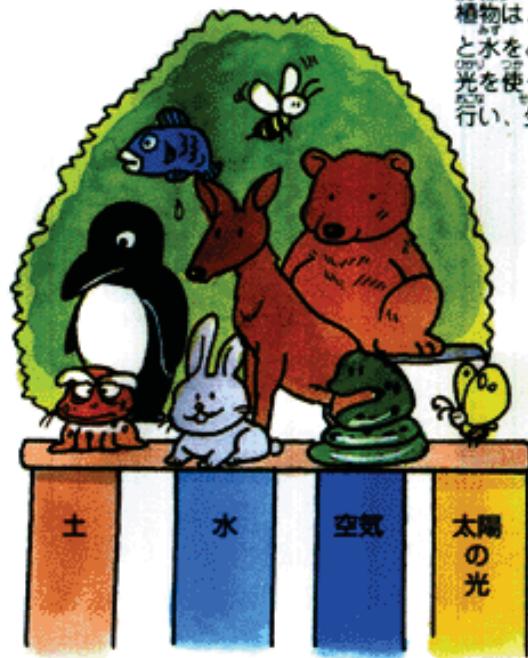


## しぜんせいたいけい 自然生態系

## やせい い 野生の生きものは、おたがいに関係しあって生きている

生きものが生きていくためには、「水」「空気」「土」「太陽の光」が必要じゃ。これらの4つの要素を土台にして、わしら「野生の生きもの」が生きてている。4つの要素と生きものが複雑に関係しあってつくる世界を、むずかしい言葉じゃが「自然生態系」というんじゃ。



植物は、土から養分と水をとり、太陽の光を使って光合成を行い、生長する。▼



▲枯れた植物、動物の死がいやんなどは、土の中の生きものによつて分解され、生きた土となる。

▼タカなどが小鳥やカエルといった生きものを食べる。



カエルなどがバッタなどを食べる。

自然生態系は、長い年月をかけてつくりあげられたものじゃ。「野生の生きもの」だって、地球上に生きものが誕生していらい40億年もかけて今の状態になったのじゃ。自然生態系とは、とても人間の技術でつくれるものではないんじゃ。だから、一度こわしてしまうと元にもどすことは大変むずかしく、時間もかかるんじゃよ。



いろんな生きものがお互いに関係をもってくらしていく空間、たとえば草地、川、林、森など、昔から生きものがいっぱいいるところを「ビオトープ」というんじゃ。それをどんどん回復させれば、ケロケロ草もかならず生えてくる。



このあたりは  
草地の  
ビオトープ

よーし  
実際に  
ビオトープを  
見に行こうか

さあーおきるー

